

5

Q 無垢フローリングに向いている国産スギは？

A 油脂分の多い宮崎産、四国の四万十産がお勧め。
ただし工場の質も重要。

美しさから言えば、九州の宮崎産か四国の四万十産のスギだろう。ヒノキもそうだが、南の方で採れるスギのほうが吉野や京都のものより油脂分が多い。水に強く粘り強い点もいいが、木目の美しさと香りの強さが特徴的だ。あちこちからスギの板材を仕入れているが、源平材は多くの場合、赤身に茶色が差している。しかし、宮崎や四万十のスギはこの茶色っぽさが入らない。

ただし、フローリングを選ぶ場合、産地がいい、木がいいだけではダメだ。木を製材・加工する工場がものを言う。人工乾燥の窯（かま）がいい、天日乾燥できるだけの敷地がある、機械がよくて職人がいい、

製品管理がきちんとできる—これらが全部そろって、最終的に製品として「これはきれいなフローリングだ」となる。

そうした工場は、製品のよさをきちんとわかって使ってほしいというスタンスをもち、ジャンジャン安く出荷するような商売をしないことが多い。

私がよく扱うのは、宮崎産のスギだと幅30×180×長4000mm（エンドマッチ付きは3950mm）の製品。価格（工務店渡し）は1万9800円/坪だ。3寸幅、3寸5分幅で1万2000円/坪くらいのタイプもある。

【新美俊彦氏】